

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第30週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (30週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	70歳代	女	結核性胸膜炎	呼吸困難、胸水
			80歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
		高鍋	80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日向	90歳代	女	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群(HUS) O157(VT型不明)

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 2,340 人(定点当たり 50.0)で、前週比 100%と横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,507 人(26.0)で、前週比 87%と減少した。延岡(42.9)、高千穂(32.0)、日南(30.0)、中央(30.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

【RSウイルス感染症】

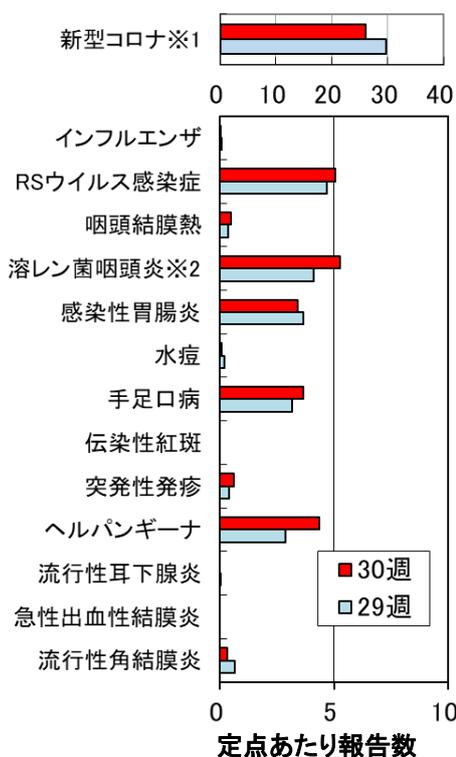
報告数は 182 人(5.1)で、前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約 2.9 倍であった。中央(14.0)、高鍋(7.0)、宮崎市(5.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 9 割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は 157 人(4.4)で、前週比 151%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約 3.3 倍であった。日南(10.0)、都城(7.7)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

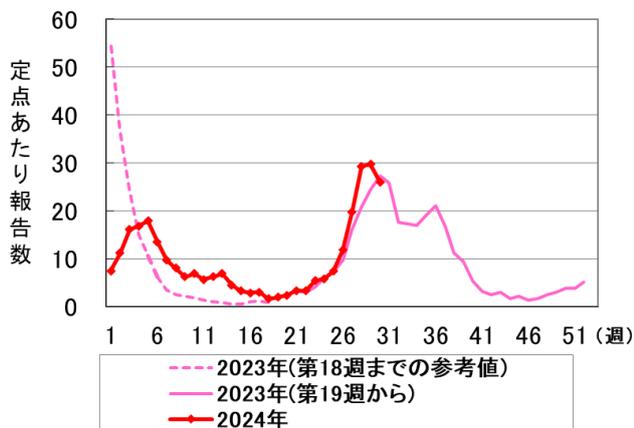
《前週との比較》



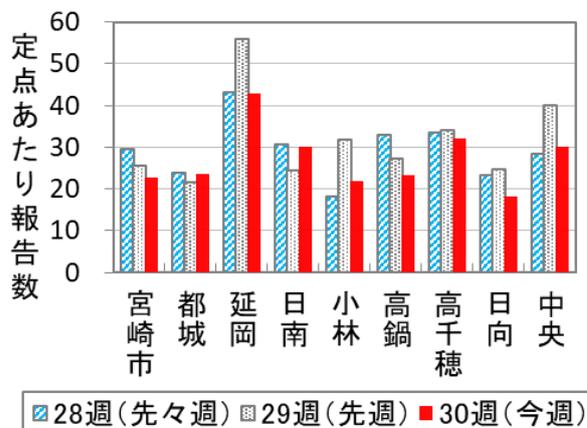
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

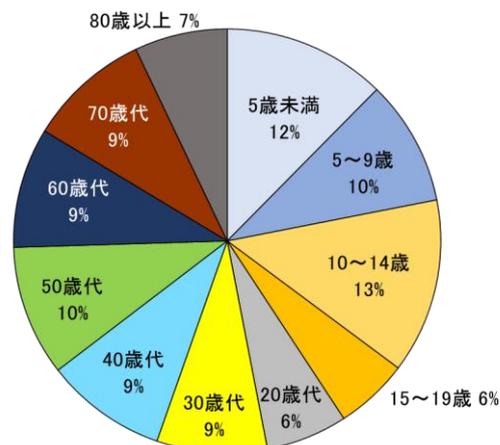
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

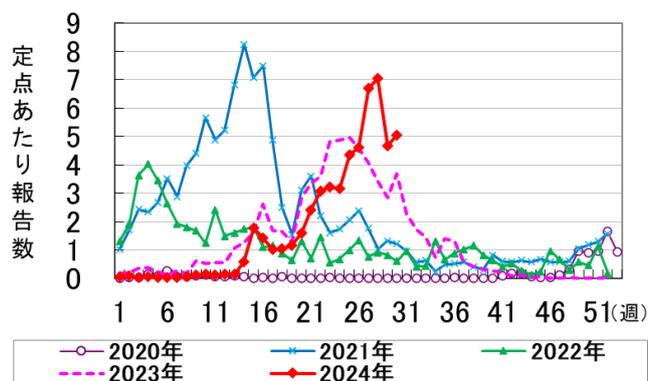


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第30週)

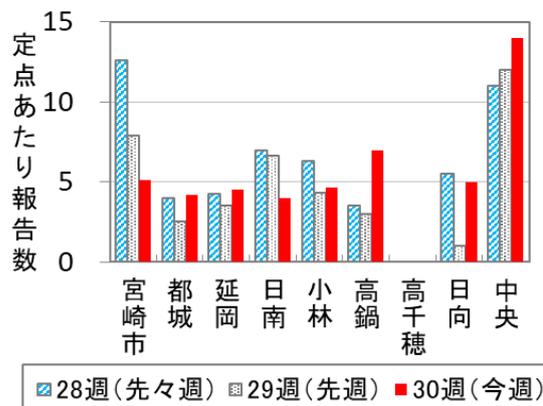


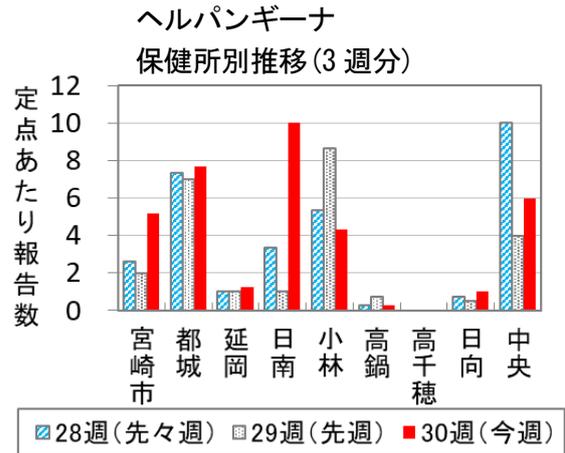
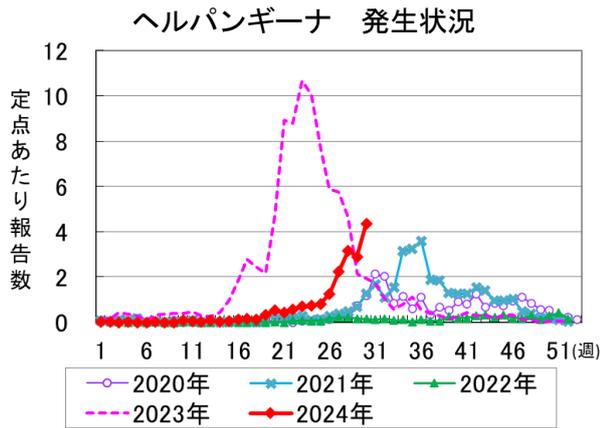
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

RSウイルス感染症 発生状況



RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋(2例)、日向(2例)、延岡(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が3例、0～4歳が1例、10～14歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(6.6)
都城	ヘルパンギーナ(7.7)
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(17.7) ヘルパンギーナ(10.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0) ヘルパンギーナ(6.0)

※流行警報レベル開始基準値※

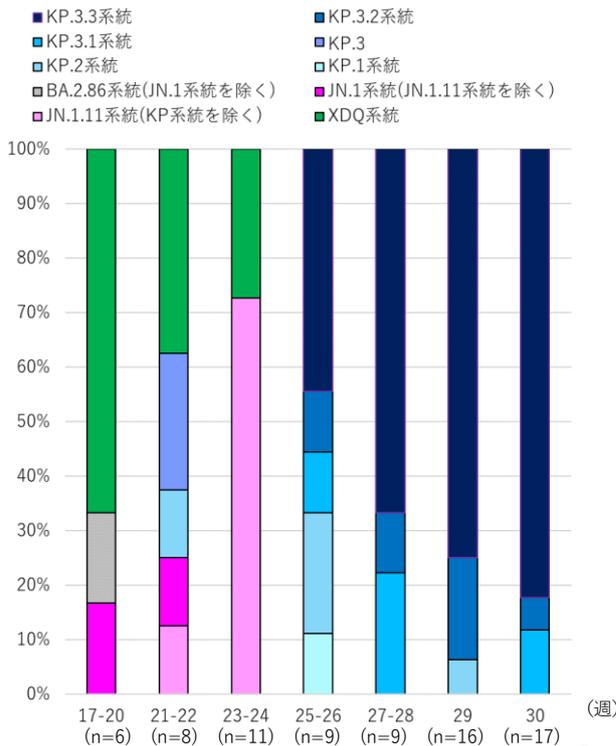
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報 (衛生環境研究所微生物部)

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第30週では全てがKP.3系統で、そのうちKP.3.3系統が約82%を占めている。

※KP系統はJN.1.11.1の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

📌 全国 2024 年第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	199 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	101 例		
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	2 例	エムポックス	1 例
	日本紅斑熱	6 例	マラリア	3 例	ライム病	1 例
	類鼻疽	1 例	レジオネラ症	51 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	41 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	9 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	168 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	53 例
	麻しん	2 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 96% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 67,334 人(13.6)で前週比 122% と増加した。佐賀県(31.1)、宮崎県(29.7)、鹿児島県(27.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は 5,274 人(1.7)で前週比 91% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.1)の約 0.8 倍であった。鹿児島県(5.0)、愛媛県(5.0)、福岡県(4.9)、宮崎県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

手足口病の報告数は 36,797 人(11.7)で前週比 88% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.3)の約 3.5 倍であった。三重県(27.6)、富山県(21.8)、静岡県(20.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	2	1	1							
	定点当り	0.07	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	1724	1507	362	235	300	150	87	140	64	109	60
	定点当り	29.72	25.98	22.63	23.50	42.86	30.00	21.75	23.33	32.00	18.17	30.00
RSウイルス感染症	報告数	169	182	51	25	18	12	14	28		20	14
	定点当り	4.69	5.06	5.10	4.17	4.50	4.00	4.67	7.00	0.00	5.00	14.00
咽頭結膜熱	報告数	13	17	3	7	2			1		4	
	定点当り	0.36	0.47	0.30	1.17	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	148	189	67	25	25	53	1	11	1	5	1
	定点当り	4.11	5.25	6.70	4.17	6.25	17.67	0.33	2.75	1.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	132	123	42	24	3	9	20	8		17	
	定点当り	3.67	3.42	4.20	4.00	0.75	3.00	6.67	2.00	0.00	4.25	0.00
水痘	報告数	7	3	1							1	1
	定点当り	0.19	0.08	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	113	131	66	18	6	12	4	10		13	2
	定点当り	3.14	3.64	6.60	3.00	1.50	4.00	1.33	2.50	0.00	3.25	2.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	22	9	5	1	3		2			2
	定点当り	0.39	0.61	0.90	0.83	0.25	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	104	157	52	46	5	30	13	1		4	6
	定点当り	2.89	4.36	5.20	7.67	1.25	10.00	4.33	0.25	0.00	1.00	6.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	2	2								
	定点当り	0.67	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	5			1			2		2	
	定点当り	0.14	0.71	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00		2.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～30週 保健所受理分)

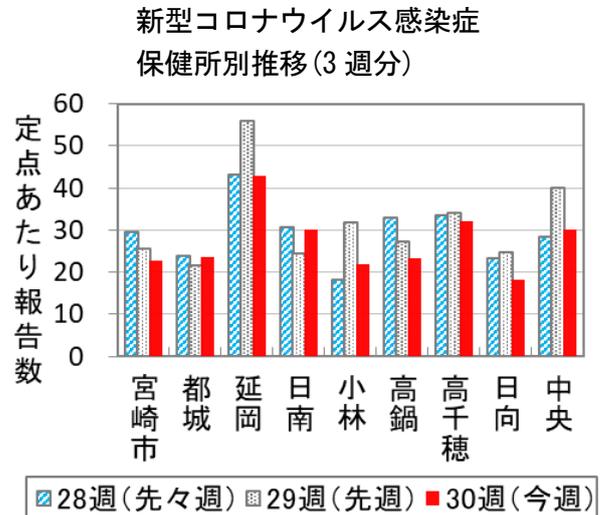
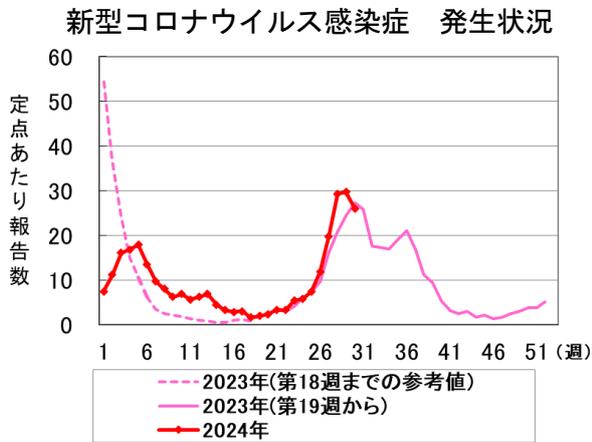
2類感染症	結核	64例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	24例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	9例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	90例
			百日咳	38例

()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第30週、全国第29週（再掲）》

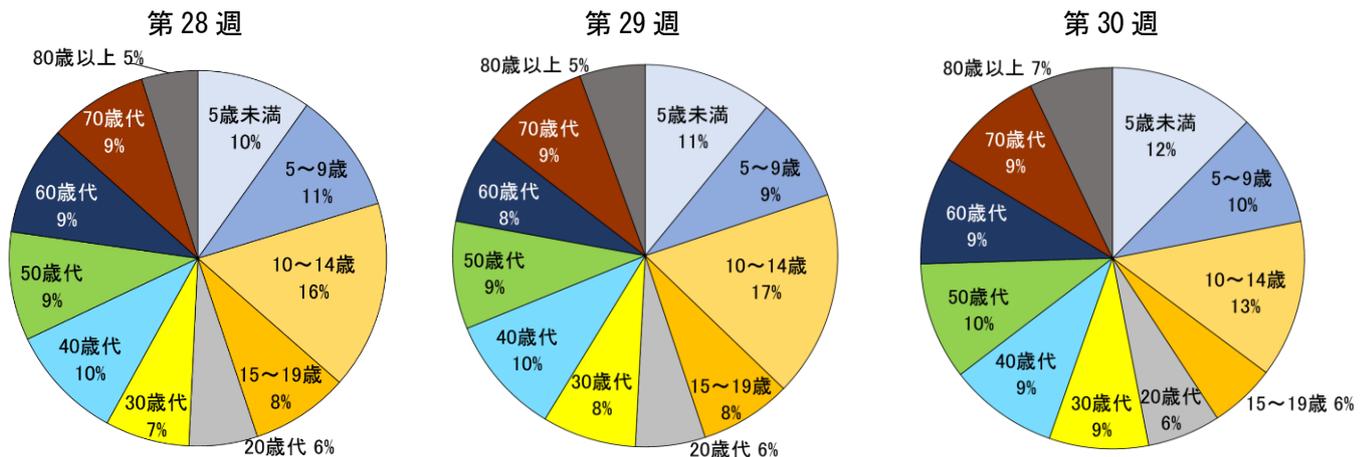
□ 県内第30週 新型コロナウイルス感染症発生動向

7月22日～7月28日までの1週間で1,507人(26.0)の報告があった。前週比87%と減少し、延岡(42.9)、高千穂(32.0)、日南(30.0)、中央(30.0)保健所管内からの報告が多かった。

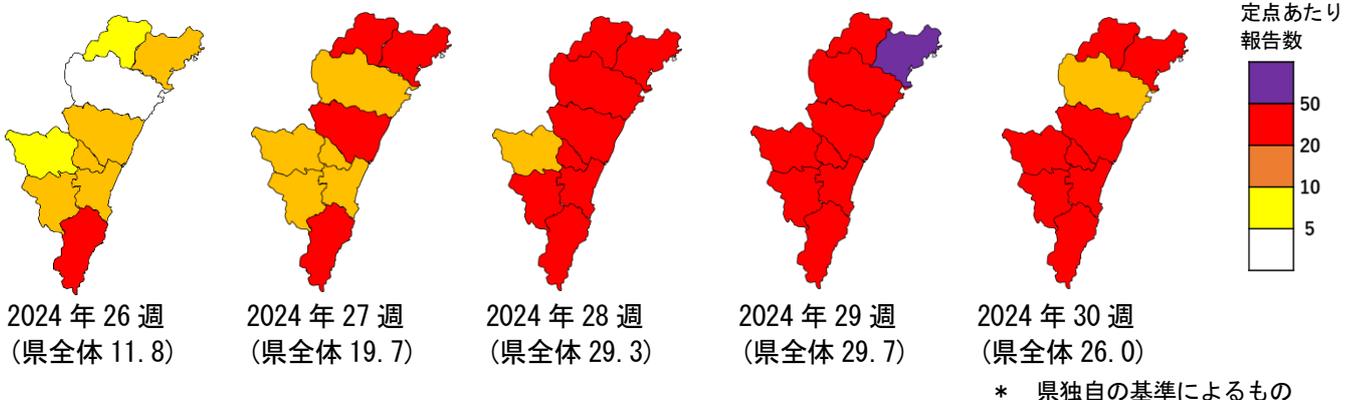


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第26週～2024年第30週



□ 全国第29週 新型コロナウイルス感染症発生動向

7月15日～7月21日までの1週間で67,334人(13.6)の報告があった。前週比122%と増加し、佐賀県(31.1)、宮崎県(29.7)、鹿児島県(27.4)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。